

<アイデア>

歴史的分野「C(1)ア(カ)」(第二次世界大戦と人類への惨禍)
 年表や地図から必要な情報を選んで読み取る技能を活用して、日本の領土の変遷について、複数の歴史地図を並べ替えて、概要を表現するアイデア

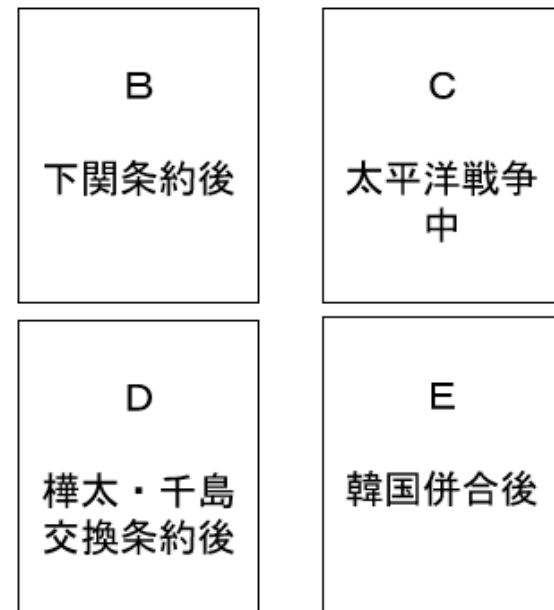
【学習問題】

日本の領土は、どのように変わってきたのでしょうか。

年表 我が国の領土の移り変わり

江戸	1853	ペリー来航
	1854	日米和親条約
明治	1875	樺太・千島交換条約
	1894	日清戦争
	1895	下関条約、三国干渉
	1904	日露戦争
	1905	ポーツマス条約
	1910	韓国併合
大正	1914	第一次世界大戦
	1919	ベルサイユ条約
昭和	1931	満州事変
	1932	「満州国」建国
	1939	第二次世界大戦
	1941	太平洋戦争
	1968	小笠原諸島復帰
	1972	沖縄復帰

地図



本單元に関する学習指導要領の内容

歴史的分野「C(1)ア(カ)」(第二次世界大戦と人類への惨禍)

C 近現代の日本と世界

(1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(カ) 第二次世界大戦と人類への惨禍

経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

＜本アイディアのポイント＞

- ・ 明治以降の日本の領土の範囲は短期間に変遷を繰り返しててきました。第二次世界大戦までの学習を終えた段階で、年表を活用しながら、複数の歴史地図を並べ替えることであやふやになりつつある知識や大まかな歴史の流れをもう一度定着させることが期待できます。

年表や歴史地図の一部をマスキングすることで、難易度を調整することもできますね。



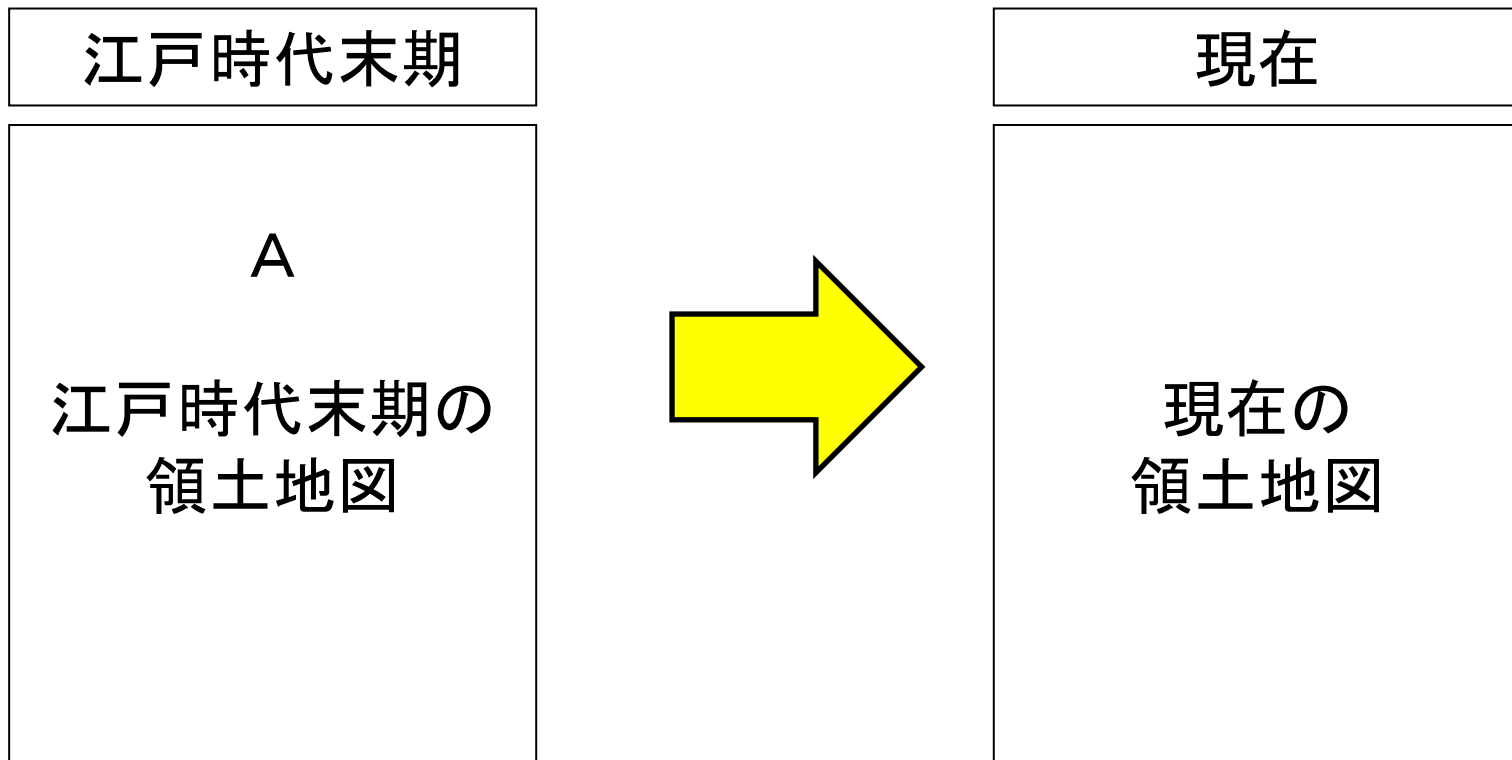
【展開例】

- ① 「地図カードA」に示されている江戸末期の領土と現在の領土とを比較し、気付いたことを述べ合う。
- ② 本時の学習問題を確認する。
- ③ 年表から必要な情報を探し、「地図カードB」から「地図カードE」を年代の古い順に並べる。
- ④ 学級で話し合う。 ⑤ 個人で考えをまとめる。

展開① 「地図カードA」に示されている江戸末期の領土と現在の領土とを比較し、気付いたことを述べ合う。

準備物

- （年表）「日本の領土の移り変わり」
- （地図カードA～E，現在の領土）



展開② 本時の学習問題を確認する。

江戸，明治，大正，昭和と，それぞれの時代によって，日本の領土が変わってきたんだね。



大きい戦争と領土問題は，深く関わり合っていたね。

幕末から昭和までの学習を「領土の移り変わり」の視点から，振り返ってみましょう。



【学習問題】

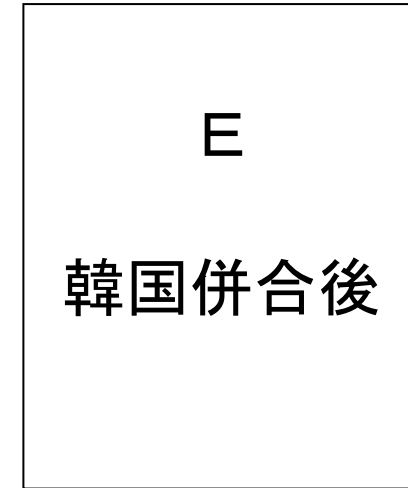
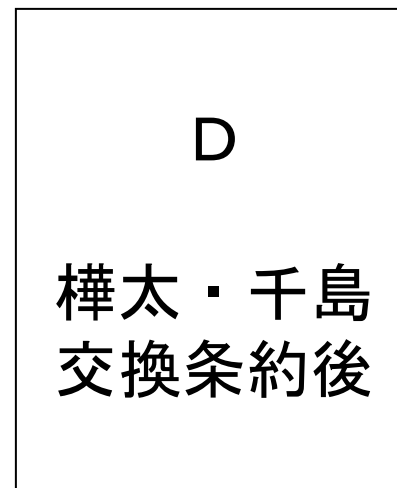
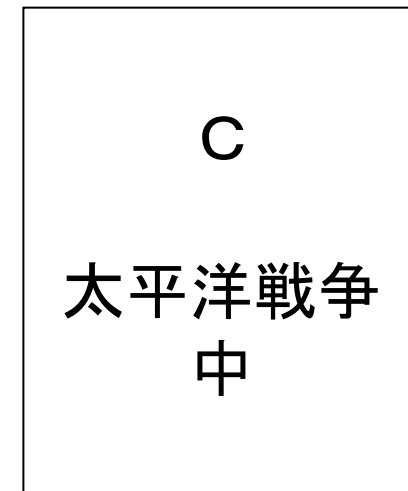
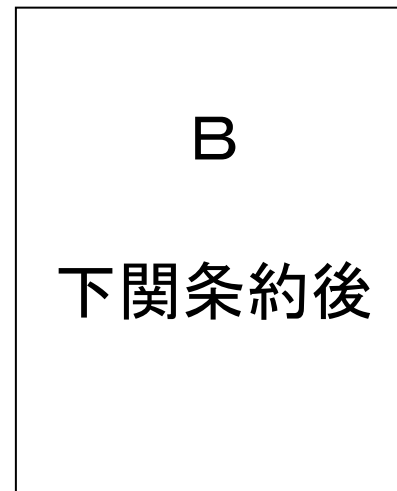
日本の領土は，どのように変わってきたのでしょうか。

展開③ 年表から必要な情報を探し、「地図カードB」から「地図カードE」を年代の古い順に並べる。

年表 我が国の領土の移り変わり

江戸	1853	ペリー来航
	1854	日米和親条約
明治	1875	樺太・千島交換条約
	1894	日清戦争
	1895	下関条約、三国干渉
	1904	日露戦争
	1905	ポーツマス条約
	1910	韓国併合
大正	1914	第一次世界大戦
	1919	ベルサイユ条約
昭和	1931	満州事変
	1932	「満州国」建国
	1939	第二次世界大戦
	1941	太平洋戦争
	1968	小笠原諸島復帰
	1972	沖縄復帰

地図



展開④ 学級で検討する。

年表 我が国の領土の移り変わり

江戸	1853	ペリー来航
	1854	日米和親条約
	1875	樺太・千島交換条約
明治	1894	日清戦争
	1895	下関条約、三国干涉
	1904	日露戦争
	1905	ポーツマス条約
	1910	韓国併合
	1914	第一次世界大戦
大正	1919	ベルサイユ条約
	1931	満州事変
昭和	1932	「満州国」建国
	1939	第二次世界大戦
	1941	太平洋戦争
	1968	小笠原諸島復帰
	1972	沖縄復帰

D

樺太・千島
交換条約後

B

下関条約後

E

韓国併合後

C

太平洋戦争
中

展開④ 学級で検討する。



Dのカードの地図に示されている「樺太・千島交換条約」は、年表に照らし合わせると「明治初期」に当たります。

<気付いたこと>

- ・ 明治初期→樺太・千島交換条約
- ・ 日清戦争→下関条約（台湾・澎湖諸島・遼東半島）
- ・ 日露戦争→ポーツマス条約（韓国での優越権，旅順・大連の租借権，長春以南の鉄道利権，南樺太）
- ・ 太平洋戦争→「大東亜共栄圏」

展開⑤ 個人で考えをまとめる。

カードの順番が正しく分かったところで、日本の領土の移り変わりについてまとめてみましょう。



【まとめ】

カードの順番（ A → D → B → E → C ）

（例）

日本の領土は、さまざまな戦争や条約などを経て、江戸末期から昭和初期にかけて、範囲や場所が変化してきた。

受講者の感想

- ・領土の変化と戦争や条約を結び付けて考えることができる資料で、よいと思った。
- ・並べ替えの過程で、既習事項を根拠に話し合いを行うことができると感じた。
- ・クイズ感覚で解いて行けるのが生徒にとっては、興味をもって取り組めていけるものであると考える。気付いたこともしっかり書かせることで、より深く学んでいけると考える。
- ・年表と領土を何度も見直しをすることで、出来事を整理することにつながっている。
- ・資料活用に1時間を取ることによって、知識の定着にもつながる。生徒に資料を見る、読み取る力を意識させるには、必要な内容である。実際余裕がないとできない気がするが、年に数回やってみたい。